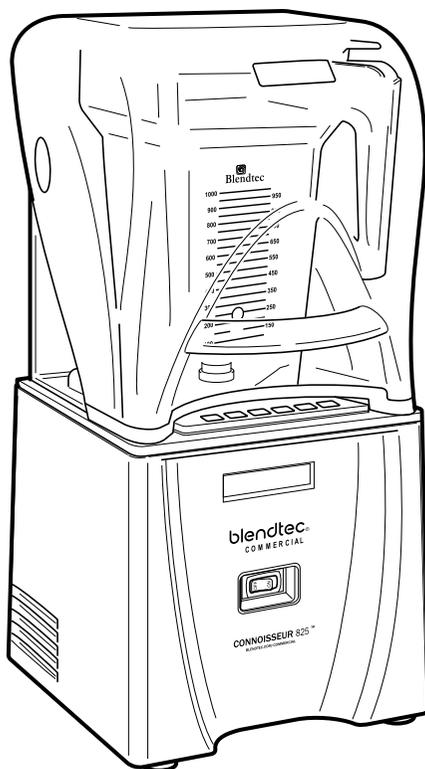


スムージーブレンダー
CONNOISSEUR (業務用)

blendtec®

取扱説明書



このたびは、当社のスムージーブレンダー（CONNOISSEUR）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

安全上のご注意	1 ~ 7
各部の名称	8
本体部	8
付属品（予備の容器）	8
操作スイッチ部	9
据付けについて	10・11
操作のしかた	12~16
お手入れ	17~23
設定モードについて	24~35
設定モードの一覧	24・25
サイクルメニューの変更のしかた	26~28
各サイクルスイッチの自動変速サイクルの変更のしかた 1	29~31
各サイクルスイッチの自動変速サイクルの変更のしかた 2	32・33
工場出荷時のサイクルメニューへの戻しかた	34
総使用回数および各サイクルスイッチ使用回数の確認のしかた	35
故障の診断と手当	36・37
メニューバリエーションの例	38
仕様	40
梱包内容一覧	40
保証書（別添付）について / 消耗部品 / 補修用性能部品の保有期間	41

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

警告



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多い所や、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと

本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



確認

据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること

モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、ショート、火災の原因になります。

警告



電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと
そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。

禁止



点検清掃

電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本体の各スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

異常時は、電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグを抜いて、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用せずに、窓をあけて換気すること

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたりすると、引火爆発し危険です。



挿入禁止

カッターの回転中は、投入口から指、箸、スプーンなどを入れないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。
カッターや箸、スプーンが破損した場合は、異物混入の原因になります。



禁止

カッターの回転が完全に止まるまでは、容器蓋やのぞき蓋を取り外さないこと

誤ってカッターに触れた場合、ケガの原因になります。
材料が飛び散り、周囲を汚す原因になります。

警告



プラグを抜く

容器に食材を入れるときや取り出すときは、電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグを抜くこと

誤ってサイクルスイッチに触れた場合、カッターが回転してケガをする恐れがあります。



プラグを抜く

容器の取り外しの際は、電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグを抜くこと

誤ってサイクルスイッチに触れた場合、カッターが回転してケガをする恐れがあります。



分解禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、容器からの液漏れやショート、感電、火災の原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などが触るとケガの原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



しっかり持つ

容器を取り外すときは、取手をしっかりと持って上方向に持ち上げること

容器を持ったり、容器蓋を持って持ち上げたりすると、転倒や落下によるケガの原因になります。

材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。

材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

80℃を超えている熱いものや、調理中に80℃を超える材料(液体と食材)は処理しないこと

モーター回転による摩擦熱で高温になり、膨張した空気の影響で容器蓋が外れて材料が容器から飛び出した場合、やけどの原因になります。

調理し続けると、シール部やパッキンなどの部品が破損し、材料がシール部から漏れる原因になります。



禁止

プラスチック容器では、45℃を超える熱い材料(80℃以下の液体や食材)は、220mLを超える量はいれないこと

容器蓋が外れたり、容器蓋と容器の隙間から材料が飛び出したりした場合、やけどの原因になります。



禁止

材料の取り出しは、投入口を使わずに、必ず容器蓋を取り外しておこなうこと

容器蓋が外れた場合、周囲を汚す原因になります。



禁止

45℃を超える熱い材料(液体や食材)が容器に入っているときは、容器の取手以外を触らないこと

容器部分を持つと、やけどをする原因になります。

⚠ 注意



しっかり持つ

45℃を超える熱い材料(液体や食材)が容器に入っているときに、容器を持ち上げるときは、取手をしっかりと持つこと

容器を落としたり、倒したりすると、やけどやケガをする原因になります。材料がこぼれた場合、周囲を汚す原因になります。材料が本体にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機の電源スイッチを「ON」(入)にしたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。



プラグを抜く

本体の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグを抜くこと

誤ってサイクルスイッチに触れた場合、カッターが回転してケガの原因になります。漏電、ショート、感電の原因にもなります。



除菌洗浄

カッター(容器内部)、容器、容器蓋など食材が接する部分は使用後、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



接触禁止

カッターの刃は、直接触れないこと

カッターの刃に触れた場合、ケガの原因になります。



指詰め注意

防音フードカバーの開閉は、ゆっくりとおこない途中で手を放さないようにすること

防音フードカバーが落ちると、指詰めの原因になります。



禁止

容器内を洗浄するときは、容器内に多量の水を入れないこと

カッターを回転させたとき、容器と容器蓋の間から水があふれ出ることがあり、本体にかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと
洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



開放禁止

容器蓋、のぞき蓋を取り付けずに調理、洗浄時の運転をおこなわないこと

材料や水が飛び散って周囲を汚したり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



プラグを抜く

ご使用後は、安全のため電源スイッチが「OFF」(切)になっていることを確認し、電源プラグを抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



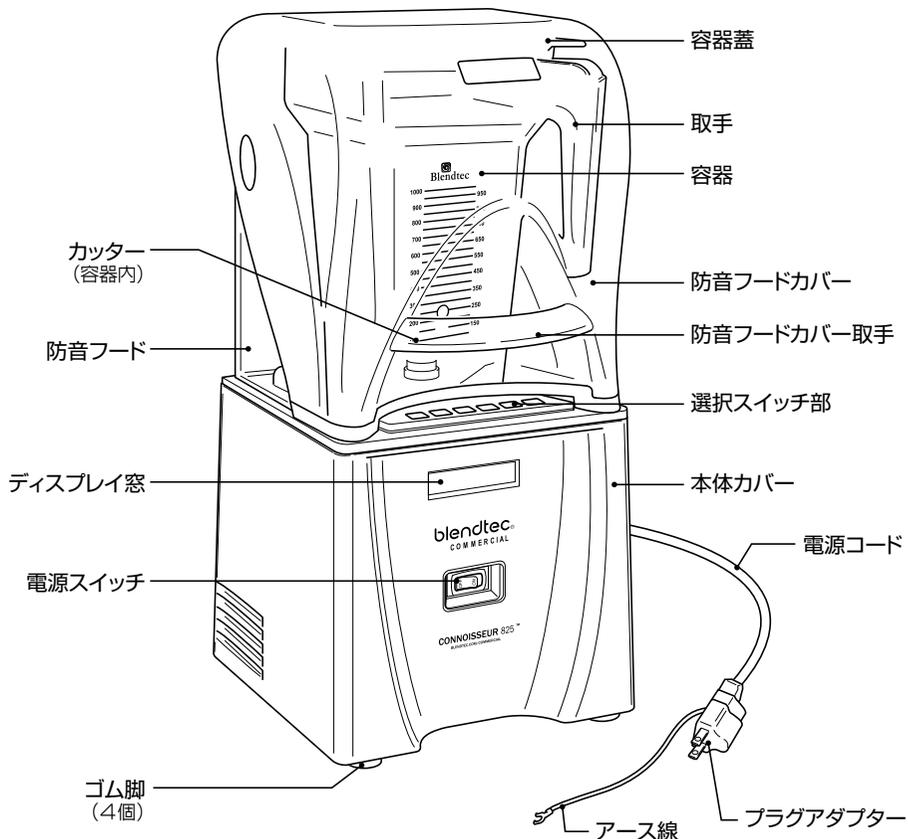
テープ止め

このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

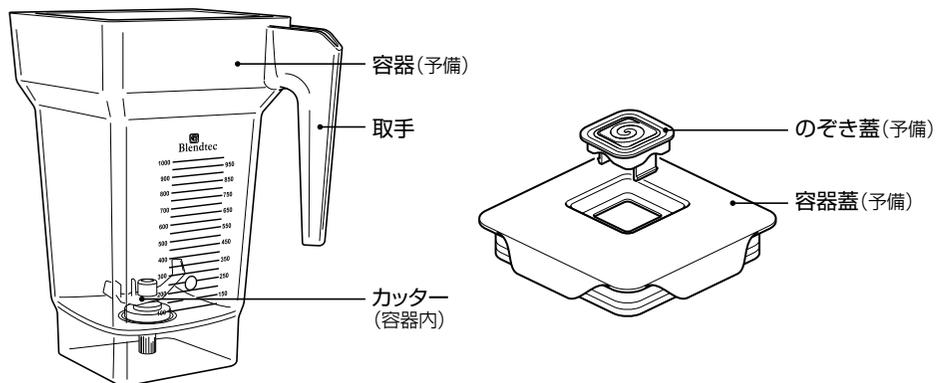
各部の名称

本機は、材料（液体＋食材）と氷を粉碎、攪拌し、スムージーを作る機械です

本体部



付属品 (予備の容器)



操作スイッチ部



- 「1」 サイクルスイッチ ……… スイッチに設定されている自動変速サイクルで調理します。
- 「2」 サイクルスイッチ ……… スイッチに設定されている自動変速サイクルで調理します。
- 「3」 サイクルスイッチ ……… スイッチに設定されている自動変速サイクルで調理します。
- 「4」 サイクルスイッチ ……… スイッチに設定されている自動変速サイクルで調理します。
- 「5」 サイクルスイッチ ……… スイッチに設定されている自動変速サイクルで調理します。
- 「」 スイッチ …………… このスイッチを押している間（最大 30 秒間）、調理をします。

各サイクルスイッチ（「」スイッチを含む）に設定されている自動変速サイクルについては、「各サイクルスイッチの自動変速サイクル」（14 ページ）を参照してください。

据付けについて

警告

- ❗ **本機の電源は、専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること**
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。
- ⊘ **湿気の多いところや、水などがかかり易い、または流れてくるところに据え付けないこと**
本体や電源コードに水がかかると、絶縁低下から、漏電、ショート、感電の原因になります。
- ❗ **据え付ける場所が、水などで濡れていないことを確認すること**
モーターが高速回転したとき、本体の底部から吸い上げ、モーターの絶縁不良と回転不良の原因になります。また、漏電、ショート、感電の原因になります。
- ❗ **アース線を必ず接続すること**
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。

注意

- ❗ **丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること**
据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりすると転倒、落下によるケガなどの原因になります。

本機は、防音フードカバーの開閉作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください

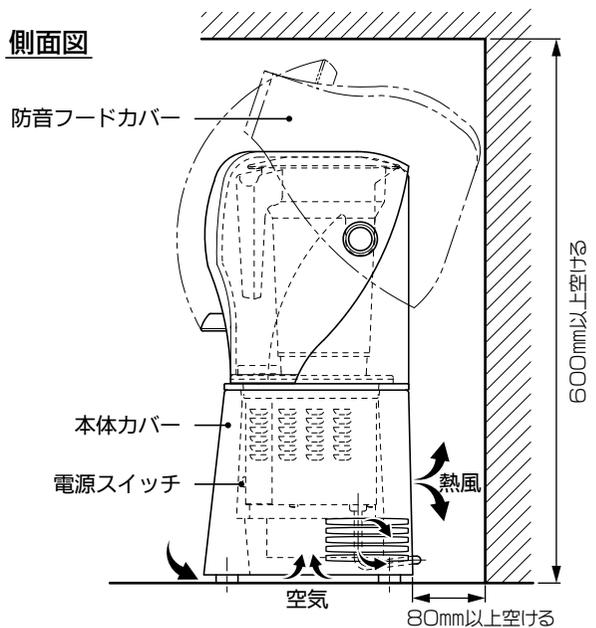
ブレンダーの後方は約 80 mm以上、
高さは約 600 mm以上のスペースが必要です。

空気の流通の妨げになるものを付近に置かないでください

本機は、本体底部より空気を引き込み、本体側面にある通風孔より熱風を出し、本体カバー後面の通風口より外部に排出します。

操作スイッチ部が正面にくるようにして据え付けてください

側面図

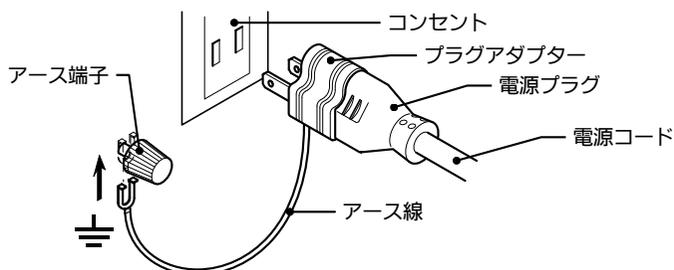


本機は、専用コンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください

電源コードの長さ：1.7 m

プラグアダプターのアース線（緑色の線）を設備側のアース端子に接続してください

ご使用の際は、本機専用のコンセントに電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください



お願い

梱包用の外箱は捨てずに保管してください。

引越しのときや修理のための発送の際にお使いください。

操作のしかた

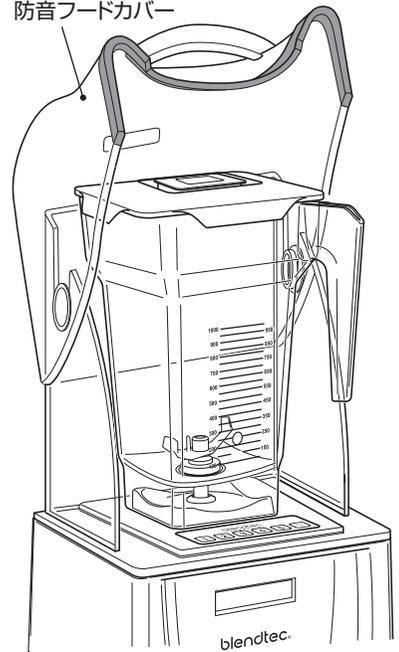
1. 調理を始める前に「お手入れ」(17ページ)を参照して、容器、のぞき蓋、容器蓋をきれいに洗浄してください
2. 防音フードカバー取手を持って、防音フードカバーを上方に止まるところまで開けてください

⚠ 注意



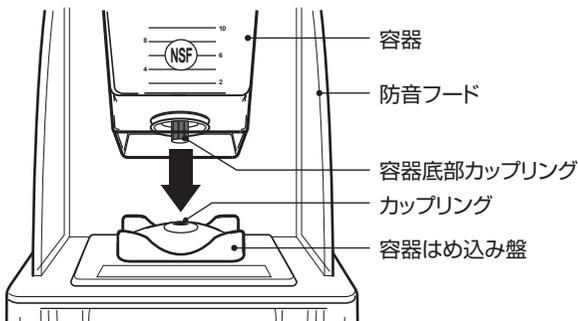
防音フードカバーの開閉は、ゆっくりとおこない途中で手を放さないようにすること
防音フードカバーが落ちると、指詰めの原因になります。

防音フードカバー



3. 容器を本体にセットしてください

容器の取り付けかたは、容器の取手を持ち、本体上部の容器はめ込み盤内のカップリングに、容器底部のカップリングが合うように乗せてください。



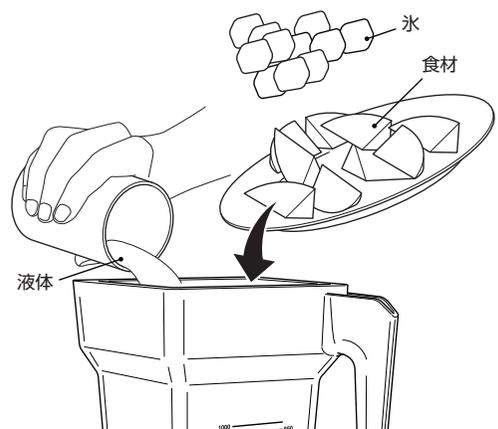
4. 容器蓋を外し、氷とお好みの材料(液体 + 食材)を容器内に入れてください

氷は、チップアイス、またはキューブアイス(製氷機の氷)をご使用ください。

お願い

容器内には氷を先に入れてから材料(液体 + 食材)を入れてください。

先に材料(液体 + 食材)を入れて、その上に氷を入れますと、回転したとき氷が浮き上がってうまく粉砕されず、氷の固まりが残る場合があります。



お願い

本機は、材料（液体＋食材）と氷を粉碎、攪拌し、スムージーを作るブレンダーです。食材は、必ず十分な液体と一緒にに入れて調理してください。

氷や食材だけの調理、および水分量が少なく粘度の高い食材、極端に固い食材はモーターに過負荷がかかり、故障の原因になりますので、絶対にしないでください。

お手入れの乾燥（約3秒間）以外では、空運転はしないでください。

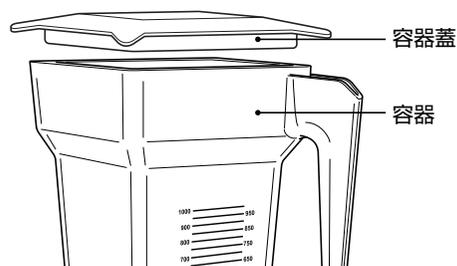
材料（液体＋食材）を入れずに運転すると、容器のカッター軸部が焼き付いて回らなくなるなど故障の原因になります。

氷や材料（液体＋食材）は、最大0.95L、最小0.2Lの範囲で調理してください。

氷や材料（液体＋食材）の量が0.95Lを超えると、調理中に容器からあふれ出ます。また、0.2Lより少ないとうまく攪拌されません。

5. 容器蓋をしっかりと取り付けてください

容器蓋にのぞき蓋をしっかりと取り付けてください。



6. 防音フードカバーをゆっくりと閉めてください

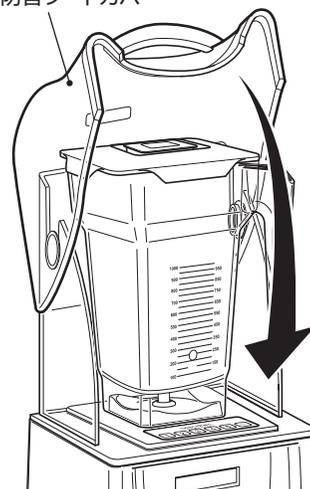
⚠ 注意



防音フードカバーの開閉は、ゆっくりとおこない途中で手を放さないようにすること

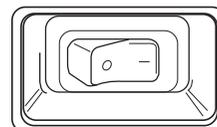
防音フードカバーが落ちると、指詰めの原因になります。

防音フードカバー



7. 専用コンセントに、電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください

8. 電源スイッチを「ON」（入）にしてください



9. お好みのサイクルスイッチを押してください



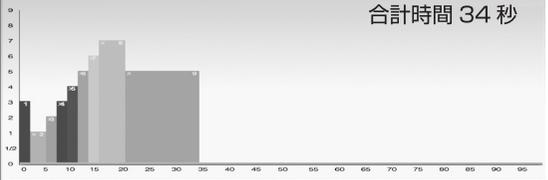
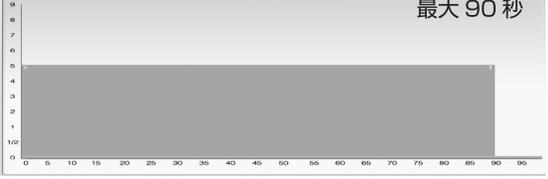
サイクルスイッチ「**①**」～「**⑤**」には、それぞれに自動変速サイクルが設定されています。メニューに合ったサイクルスイッチを押して調理してください。

(各サイクルスイッチに設定されている自動変速サイクルは、下表の「各サイクルスイッチの自動変速サイクル」を参照してください。)

パルススイッチ「**⑥**」は、押している間(最大 90 秒)、攪拌スピード 5 で調理をおこないます。

各サイクルスイッチの自動変速サイクル

<p>サイクルスイッチ 1 「Milkshake」 標準量のミルクセーキ (仕上がりで 500mL 以下)</p>	<p>合計時間 26 秒</p> <p>A bar chart with a y-axis from 0 to 9 and an x-axis from 0 to 95. A single grey bar is shown at the 26-second mark.</p>
<p>サイクルスイッチ 2 「Light juice, Sml Milkshake」 軽いジュース / 少量のミルクセーキ (仕上がりで約 350mL 以下)</p>	<p>合計時間 12 秒</p> <p>A bar chart with a y-axis from 0 to 9 and an x-axis from 0 to 95. Three grey bars are shown at approximately 3, 6, and 9 seconds.</p>
<p>サイクルスイッチ 3 「Granita, Medium Milkshake」 グラニータ / 標準量のミルクセーキ (仕上がりで約 500mL 以下)</p>	<p>合計時間 14 秒</p> <p>A bar chart with a y-axis from 0 to 9 and an x-axis from 0 to 95. Four grey bars are shown at approximately 3, 6, 9, and 12 seconds.</p>
<p>サイクルスイッチ 4 「Lrg Smoothie, Yogurt, IQF Fruit」 多量のスムージー / ヨーグルト / パラ凍結フルーツ (仕上がりで約 600mL 以下)</p>	<p>合計時間 23 秒</p> <p>A bar chart with a y-axis from 0 to 9 and an x-axis from 0 to 95. Four grey bars are shown at approximately 3, 6, 9, and 15 seconds.</p>

<p>サイクルスイッチ 5 「Lrg Smoothie, IQF, Yogurt, Ice」 多量のスムージー / パラ凍結食材 / ヨーグルト / 氷 (仕上がりで約 600mL 以上)</p>	 <p>合計時間 34 秒</p>
<p>パルススイッチ 「Pulse @ Speed 5」 最大 90 秒 攪拌スピード 5</p>	 <p>最大 90 秒</p>

攪拌スピードと回転数（回転数は、無負荷時によるものです。）

攪拌スピード 1	4,100r.p.m.	攪拌スピード 5	13,000r.p.m.	攪拌スピード 9	21,000r.p.m.
攪拌スピード 2	6,500r.p.m.	攪拌スピード 6	14,000r.p.m.	—	—
攪拌スピード 3	8,400r.p.m.	攪拌スピード 7	15,000r.p.m.	—	—
攪拌スピード 4	11,000r.p.m.	攪拌スピード 8	18,000r.p.m.	—	—

攪拌サイクルが終わると、自動的に回転が止まります。

お願い

運転中に、容器や容器蓋の取り付け、取り外し、および機械の移動はおこなわないでください。

本体や容器底（外側）のカップリング部が、破損する原因になります。

メモ

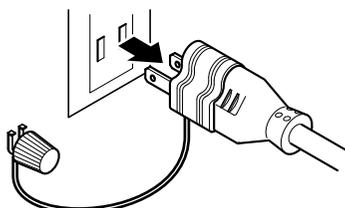
工場出荷時に各サイクルスイッチと「」スイッチに入っている自動変速サイクルは、変更することができます。

自動変速サイクルの変更方法は「設定モードについて」(24 ページ) を参照してください。

お客様のレシピに合った、自動変速サイクルを入れることもできます。

ご要望の際は、お買上店にご相談ください。

10. 調理後は、電源スイッチを「OFF」（切）にし、電源プラグ（プラグアダプター付）を抜いてください



11. 防音フードカバーを開けて容器を本体から取り外し、容器蓋を取って調理した材料をカップなどに取り出してください

容器は、取手を持ち、上方に持ち上げると簡単に外れます。

お願い

調理後、速やかに調理した材料を他のカップなどに移してください。

調理した材料を容器内で保存することは、絶対にしないでください。

調理した材料を長時間入れたままにしておきますと、カッターのシール部に材料が流れ込むことがあります。

容器軸受け内部が錆びる原因になります。

容器軸受け内部が錆びると、回転不良の原因になります。

12. 調理した材料を取り出した後は「お手入れ」（17 ページ）を参照して、容器、容器蓋、のぞき蓋をきれいに洗浄してください

お願い

本機の専用容器以外は絶対に使わないでください。

専用容器以外のもので使用されますと、故障の原因になります。

容器は別にいくつかお買い求めいただき、容器を交互にご使用くださると容器が長持ちします。

運転中に、機械の移動はおこなわないでください。

本体や容器底（外側）のカップリング部が、破損する原因になります。

本機は、定格時間内でご使用ください。

30分定格とは、30分間は連続して運転できるということです。

ただし、使用上の注意として、その後30分以上は機械を休ませてください。

定格時間（30分間）を超えて運転をしますと、モーターが異常に過熱し、モーターの寿命が短くなったり、機械内部の部品が破損したり、故障の原因になります。

容器底（外側）のカップリング部を回しても、固くて回らなくなった場合や、カッターがぐらぐらする場合は、容器の軸受部が不良になっていますので、その容器は使用しないでください。

そのまま使い続けると、ディスプレイに「OVER LOAD」が表示され、カッターの回転が止まったり、ゴムパッキンが破断したりします。

ゴムパッキンが破断すると、異物として食材に混じって危険です。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、本機を長持ちさせるために、次の場合、必ず「お手入れ」をおこなってください

- 初めて機械を使用する場合。
- 調理後、速やかに。
- 繰り返し使用する場合、30分おき。

⚠ 警告



本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



本体の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを「OFF(切)」にし、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜くこと
誤って操作スイッチに触れた場合、ケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因になります。

お願い

容器、容器蓋、のぞき蓋、防音フードカバーを洗浄するときは、食器洗浄機などは使用せずに80℃以下のお湯で洗浄してください。

高温洗浄すると変形したり、変色する恐れがあります。

洗浄や清掃をするときは、かたいタワシなどでこすらないでください。

キズがつく恐れがあります。

洗浄後、本機を保管される場合は、各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください。

次亜塩素酸ソーダを含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。

部品の劣化、および変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

傷がついたり、破損の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。

やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きますと、錆および腐食の原因になります。

除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、ゴムの部品を損傷します。

除菌洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)でも除菌洗浄剤(FMI 除菌洗浄剤)を取り扱っています。

ご購入の場合は、弊社(株式会社 エフ・エム・アイ)または納入代理店へご連絡ください。

容器、容器蓋、のぞき蓋の洗浄

1. 電源スイッチが「OFF」(切) になっていることを確認し、コンセントから電源プラグ (プラグアダプター付) を抜いてください
2. 防音フードカバーを開け、容器を本体から取り外してください
3. 容器から容器蓋、のぞき蓋を取り外し、水または温水を流しながら、付着した食材を洗い流してください

お願い

容器底部カップリングには、水がかからないようにしてください。
カッターの回転不良の原因になります。

4. 容器内に、無泡性の除菌洗浄剤を溶かした水を約 1 / 3 程度入れて、容器蓋、のぞき蓋をしっかりと取り付けてください

⚠ 注意



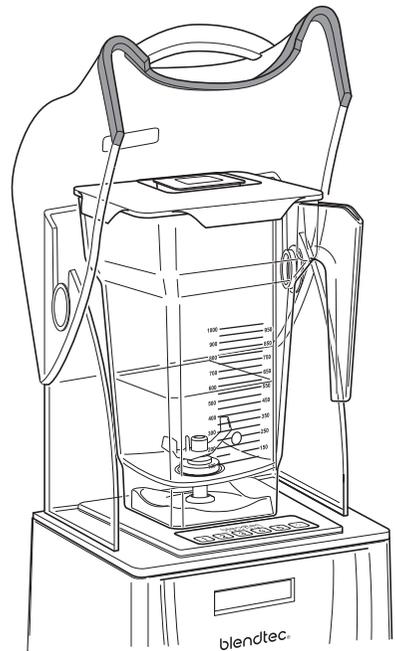
容器内を洗浄するときは、容器内に多量の水を入れないこと

カッターを回転させたとき、容器と容器蓋の間から水があふれ出ることがあり、本体にかかると、漏電、ショート、感電の原因になります。

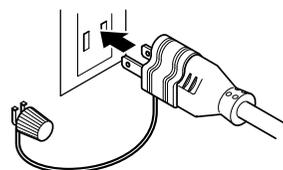
お願い

容器内の洗浄は、無泡性の除菌洗浄剤の使用が望ましいですが、食器用中性洗剤を使用される場合は、容器内に入れる水の量はカッターが漬かる程度にし、食器用中性洗剤も少量入れて、機械を回転させて洗浄してください。

容器内に水を多量に入れますと、回転させたとき容器と容器蓋の間から泡が溢れ出ることがあります。



5. 容器を本体に取り付けて、防音フードカバーを閉めてください
6. 専用コンセントに、電源プラグ (プラグアダプター付) を差し込んでください



7. 電源スイッチを「ON」(入)にし、サイクルスイッチ「③」を押してカッターを回してください

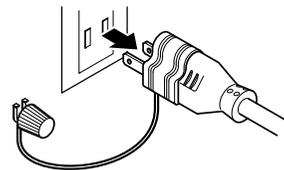
お願い

本機は、粘度の高い飲料のスムージー専用機として作られています。

水などの粘度の低いものを入れて攪拌しますと、容器と容器蓋の間から水が漏れて、本体上部や操作スイッチ部にかかることがあります。

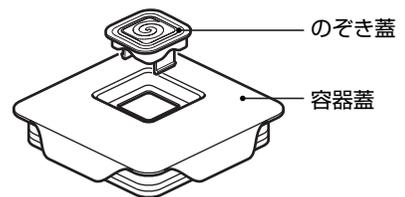
水がかかった場合は、すぐに拭き取ってください。

8. カッターの回転が止まりましたら、電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください



9. 防音フードカバーを開け、本体から容器を取り外して、洗浄剤が入った水をすべて捨ててください

10. 容器蓋からのぞき蓋を取り外してください



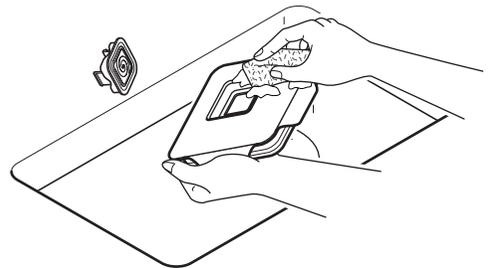
11. のぞき蓋、容器蓋を除菌洗浄剤で、きれいに洗浄してください

のぞき蓋、容器蓋を定められた使用濃度分の除菌洗浄剤を入れたぬるま湯の中で、布かスポンジできれいに洗浄してください。

お願い

容器は、水などに浸けないでください。

容器底部のカップリングに水などがかかりますとカッターの回転不良の原因になります。

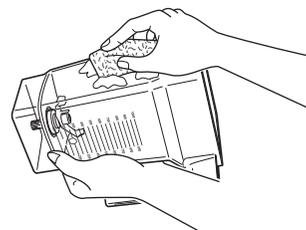


12. 容器の内側と外側は、水と除菌洗浄剤を含ませた布かスポンジできれいに洗浄してください

容器底部のカップリングには、水や除菌洗浄剤をかけないでください。

お願い

容器は、硬いタワシなどでこすらないでください。キズがつく恐れがあります。

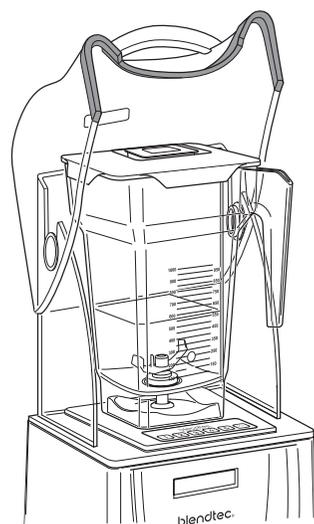


13. 容器、容器蓋、のぞき蓋を流水で洗剤成分が残らないように充分すすぎ洗いをしてください

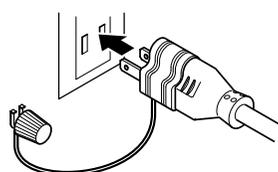
容器底部のカップリングには、水をかけないでください。

14. 容器内に、きれいな水を約 1 / 3 程度入れて、容器蓋、のぞき蓋をしっかりと取り付けてください

15. 容器を本体に取り付けて、防音フードカバーを閉めてください

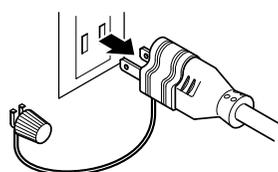


16. 専用コンセントに、電源プラグ（プラグアダプター付）を差し込んでください



17. 電源スイッチを「ON」(入)にし、サイクルスイッチ「③」を押してカッターを回転させ、洗剤成分をすすぎ洗いしてください

18. カッターの回転が止まりましたら、電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラグ（プラグアダプター付）を抜いてください



19. 防音フードカバーを開け、本体から容器を取り外して、すすぎ洗いした水をすべて捨ててください

20. 再度、「14.」～「19.」の操作をおこなって容器内をすすいでください

21. 空の状態の容器に容器蓋、のぞき蓋を取り付けて、本体にセットし、防音フードカバーを閉めてください

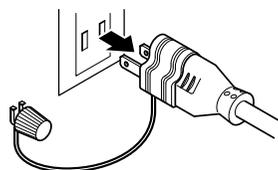
22. 電源スイッチを「ON」(入)にし、パルススイッチを3秒間押してカッターを回し、カッターアッセンブリーの水分を取り除いてください

お願い

上記の方法は、分解ができないカッターアッセンブリー内のシール部分を乾燥させるためにおこなうもので、決して3秒以上長く空回ししないでください。

カッターアッセンブリー内のシールが焼き付いて回らなくなるなど、故障の原因になります。

23. 電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグ(プラグアダプター付)を抜いてください



24. 防音フードカバーを開けて、容器、容器蓋、のぞき蓋を取り外し、清潔な布で各部品に付着した水分を拭き取り、空気乾燥させてください

⚠ 注意



カッターの刃は、直接触れないこと

カッターの刃に触れた場合、ケガの原因になります。

お願い

容器内のカッター部分は、すぐに清潔な布で容器の水分を拭き取ってください。

カッター部分に水分がついたまま放置しますと、金属部分が錆びる可能性があります。金属部分が錆びると、カッターの回転不良の原因になります。

容器蓋などのゴム製品は、完全に空気乾燥させてください。

水分が残っていると、腐食の原因になります。

25. 乾燥した各部品にアルコール除菌剤をスプレーしてください

お願い

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

本体上面部、本体カバー、防音フードの清掃

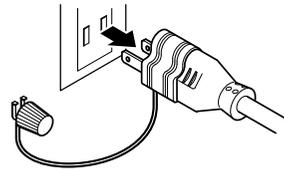


警告



本体に直接水をかけないこと
ショート、感電の原因になります。

1. 電源スイッチが「OFF」(切) になっていることを確認して、コンセントから電源プラグ (プラグアダプター付) を抜いてください

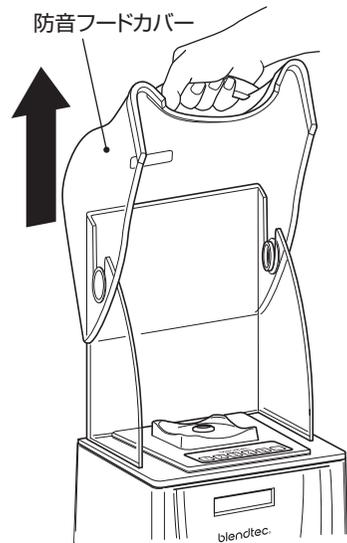


2. 防音フードカバーを取り外してください

防音フードカバーを上方に止まるところまで開けてください。

防音フードカバーの取手を持って、上に持ち上げて、防音フードカバーを取り外してください。

防音フードカバー



3. 取り外した防音フードカバーを洗浄してください

取り外した防音フードカバーは、除菌洗浄剤または食器用中性洗剤を使用して、やわらかいスポンジなどで洗浄してください。

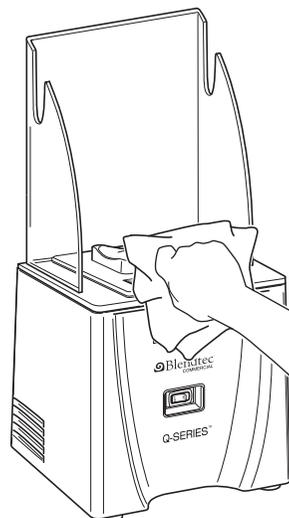
防音フードカバーを流水で十分すすぎ洗った後、水分を拭き取って空気乾燥させてください。

4. 本体上面部、本体カバー、防音フードは、除菌洗浄剤を入れて溶かしたぬるま湯で布巾を絞り、付着した食材などをきれいに拭き取ってください

お願い

本体上部の容器はめ込み盤内のカップリング内には、水が入らないようにしてください。

清掃の際、カップリング内に液体が流れ込むのを防ぐため、布やスポンジを使用する前に余分な水分を絞り取ってください。



5. すすぎ用のきれいな水で絞った布で本体上面部、本体カバー、防音フードを拭いて、完全に洗剤成分を拭き取って空気乾燥させてください
6. 各部をアルコール除菌剤をしみ込ませた布で拭いて除菌作業をおこなってください
7. 防音フードに、防音フードカバーを元どおり取り付けてください

お願い

保管される場合は、乾燥した場所に保管してください。

設定モードについて

ここでは、本機の設定モードの変更方法や確認方法についてご説明します

設定モードの一覧表

メインメニュー (Main Menu)	サブメニュー	設定内容 / 確認内容
Profiles (PROFILES) 標準のプログラムを別のプログラムに切替えることができます。 26 ページ参照	Standard Profiles プログラムを 4 種類のいづれかに切替えることができます。 (同梱の別資料を参照してください。)	Smoothie サイクルメニューをスムージー用に変更します。
		Coffee サイクルメニューをコーヒー用に変更します。
		Multipurpose サイクルメニューを多目的用に変更します。
		Milkshake サイクルメニューをミルクシェーキ用に変更します。
	Custom Profiles 工場出荷時のサイクルメニューに戻すことができます。	FMI 工場出荷時のサイクルメニューです。
		(empty) 本機では使用できません。
Blend Cycles (BLEND CYCLES) サイクルスイッチの自動変速サイクルを切替えることができます。	Standard Cycles サイクルスイッチを 43 種類のいづれかに変更することができます。 29 ページ参照	43 種類の自動変速サイクル (「43.Disable Button」に変更するとサイクルスイッチは無効になります。)
	Custom Cycles サイクルスイッチを 7 種類のいづれかに変更することができます。 32 ページ参照	Milkshake サイクルスイッチを標準量のミルクシェーキ用に変更します。
		Light Juice, small milkshake サイクルスイッチを軽いジュース / 少量のミルクシェーキ用に変更します。
		Granita, medium milkshake サイクルスイッチをグラニータ / 少量のミルクシェーキ用に変更します。
		Lrg smoothie, yogurt, IQF サイクルスイッチを多量のスムージー / ヨーグルト / パラ凍結フルーツ用に変更します。
		Lrg smoothie, IQF, yogurt, ice サイクルスイッチを多量のスムージー / パラ凍結食材 / ヨーグルト / 氷用に変更します。
		Pulse @ Speed 5 サイクルスイッチを押している間 (最大 90 秒) 攪拌スピード 5 のパルス用に変更します。
	(empty) 本機では使用できません。	

メインメニュー (Main Menu)	サブメニュー	設定内容 / 確認内容
Cycle Counts (CYCLE COUNTS) 本機の総使用回数や各サイクルスイッチ使用回数を確認できます。 35 ページ参照	Total 総使用回数を確認できます。	—
	Button 1 サイクルスイッチ 1 の使用回数を確認できます。	—
	Button 2 サイクルスイッチ 2 の使用回数を確認できます。	—
	Button 3 サイクルスイッチ 3 の使用回数を確認できます。	—
	Button 4 サイクルスイッチ 4 の使用回数を確認できます。	—
	Button 5 サイクルスイッチ 5 の使用回数を確認できます。	—
	Button 6 サイクルスイッチ 6 の使用回数を確認できます。	—
Diagnostic Counts (DIAGNOSTICS) それぞれのエラー発生回数を確認できます。 サービスマンが確認する内容です。	Over Temp	—
	Over load	—
	Temp Sensor	—
	Zero Cross	—
	Reset	—
	Read / Write	—
	Motor Cntrl	—
USB Flash Drive (USB FLASH DRIVE) お客様にて調理プログラムを作成できます。	Import Profile	本機では使用できません。
	Export Profile	
	Export Counts	
Blender Info (BLENDER INFO) 本機の情報を確認できます。	—	サービスマンが確認する内容です。

サイクルメニューの変更のしかた

本機は、工場出荷時に設定している基本のサイクルメニュー「FMI」を別のサイクルメニューに変更することで、全てのサイクルスイッチの自動変速サイクルを変更することができます。

サイクルメニューには、「Smoothie(スムージー用サイクルメニュー)」、「Coffee(コーヒー用サイクルメニュー)」、「Multipurpose(多目的用サイクルメニュー)」、「Milkshake(ミルクシェーキ用サイクルメニュー)」の4種類があります。

各サイクルメニューの内容については、28 ページを参照してください。

ここでは、サイクルメニューの変更方法について説明します。

1. 電源スイッチが「ON」(入)の状態、サイクルスイッチ「②」と「④」を長押ししてください

ディスプレイには右のように表示されます。

MAIN MENU

2. サイクルスイッチ「①」を押して「1.PROFILES」を選択してください

1. PROFILES

3. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定ください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. Standard Plofi

4. サイクルスイッチ「①」を押して「1.Standard Profile」を選択してください

1. Standard Plofi

5. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定してください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. Smoothie

6. サイクルスイッチ「①」を押して、お好みのサイクルメニューを選択してください

1. Smoothie

7. サイクルスイッチ「**5**」を押して確定してください

ディスプレイには右のような確認画面が表示
されます。

Make Smoothie th

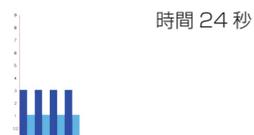
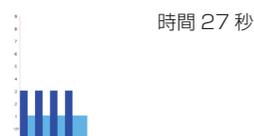
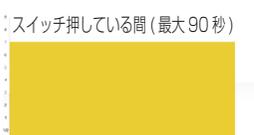
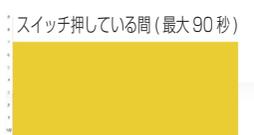
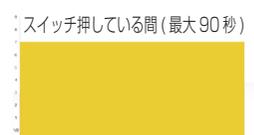
8. サイクルスイッチ「**5**」を押して確定してください

変更が確定されて、ディスプレイは待機画面
に戻ります。
ディスプレイに選択したサイクルメニューが
表示されます。

Smoothie

サイクルメニューの変更は完了です。

標準サイクルメニューのサイクルスイッチに設定される自動変速サイクル

Smoothie (スムージー用プログラム)	Coffee (コーヒー用プログラム)	Multipurpose (多目的用プログラム)	Milkshake (ミルクシェーキ用プログラム)
プログラムサイクルスイッチ 1 Small Smoothie w / Fresh Fruit 時間 20 秒 	プログラムサイクルスイッチ 1 Sm Margarita / Ice Cappuccino 時間 10 秒 	プログラムサイクルスイッチ 1 Small Milkshake 時間 18 秒 	プログラムサイクルスイッチ 1 Small Milkshake 時間 18 秒 
プログラムサイクルスイッチ 2 Medium Smoothie 4 時間 25 秒 	プログラムサイクルスイッチ 2 Large Ice Cappuccino 時間 20 秒 	プログラムサイクルスイッチ 2 Granita / Medium Milkshake 時間 14 秒 	プログラムサイクルスイッチ 2 Granita / Medium Milkshake 時間 14 秒 
プログラムサイクルスイッチ 3 Granita / Medium Milkshake 時間 14 秒 	プログラムサイクルスイッチ 3 Small Slushy / Milkshake 時間 12 秒 	プログラムサイクルスイッチ 3 Sm Margarita / Ice Cappuccino 時間 10 秒 	プログラムサイクルスイッチ 3 Milkshake w / Frozen Fruit 時間 18 秒 
プログラムサイクルスイッチ 4 Medium Smoothie 3 時間 23 秒 	プログラムサイクルスイッチ 4 Granita / Medium Milkshake 時間 14 秒 	プログラムサイクルスイッチ 4 Medium Smoothie 4 時間 25 秒 	プログラムサイクルスイッチ 4 Large Milkshake 1 時間 24 秒 
プログラムサイクルスイッチ 5 Large Smoothie 4 時間 40 秒 	プログラムサイクルスイッチ 5 Large Smoothie 2 時間 32 秒 	プログラムサイクルスイッチ 5 Large Smoothie 4 時間 40 秒 	プログラムサイクルスイッチ 5 Large Milkshake 2 時間 27 秒 
パルススイッチ Pulse @ Speed 7 スイッチ押している間 (最大 90 秒) 	パルススイッチ Pulse @ Speed 7 スイッチ押している間 (最大 90 秒) 	パルススイッチ Pulse @ Speed 7 スイッチ押している間 (最大 90 秒) 	パルススイッチ Pulse @ Speed 7 スイッチ押している間 (最大 90 秒) 

工場出荷時は、サイクルメニュー「FMI」が設定されています。

各サイクルスイッチの自動変速サイクルの変更のしかた 1

本機は、各サイクルスイッチの自動変速サイクルを変更することができます。

Blendtec 社の標準自動変速サイクルは、42 種類あります。

標準自動変速サイクルの内容については、31 ページを参照してください。

ここでは、各サイクルスイッチの自動変速サイクル変更方法について説明します。

1. 電源スイッチが「ON」(入)の状態、サイクルスイッチ「**②**」と「**④**」を長押ししてください

ディスプレイには右のように表示されます。

MAIN MENU

2. サイクルスイッチ「**①**」を押して「2.BLEND CYCLES」を選択してください

2. BLEND CYCLES

3. サイクルスイッチ「**⑤**」を押してください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. Standard Cycle

4. サイクルスイッチ「**①**」を押して「1.Standard Cycles」を選択してください

1. Standard Cycle

5. サイクルスイッチ「**⑤**」を押してください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. Salsa

6. サイクルスイッチ「**①**」を押して、お好みの自動変速サイクルを選択してください

2. Batter

7. サイクルスイッチ「」を押して確定してください

自動変速サイクルについては、31 ページを参照してください。

ディスプレイには右のような画面が表示されます。

Select button to

8. 変更するサイクルスイッチを押してください

ディスプレイには右のような確認画面が表示されます。

Update button 1

9. サイクルスイッチ「」を押して確定してください

変更が確定されて、ディスプレイには右のような画面が表示されます。

Cycle Changed

2. Batter

10. 待機画面に戻ってください

パルススイッチ「」を3回押して待機画面に戻ってください。

ディスプレイは待機画面に戻り、サイクルメニュー名の後に「*」が表示されます。

FMI *

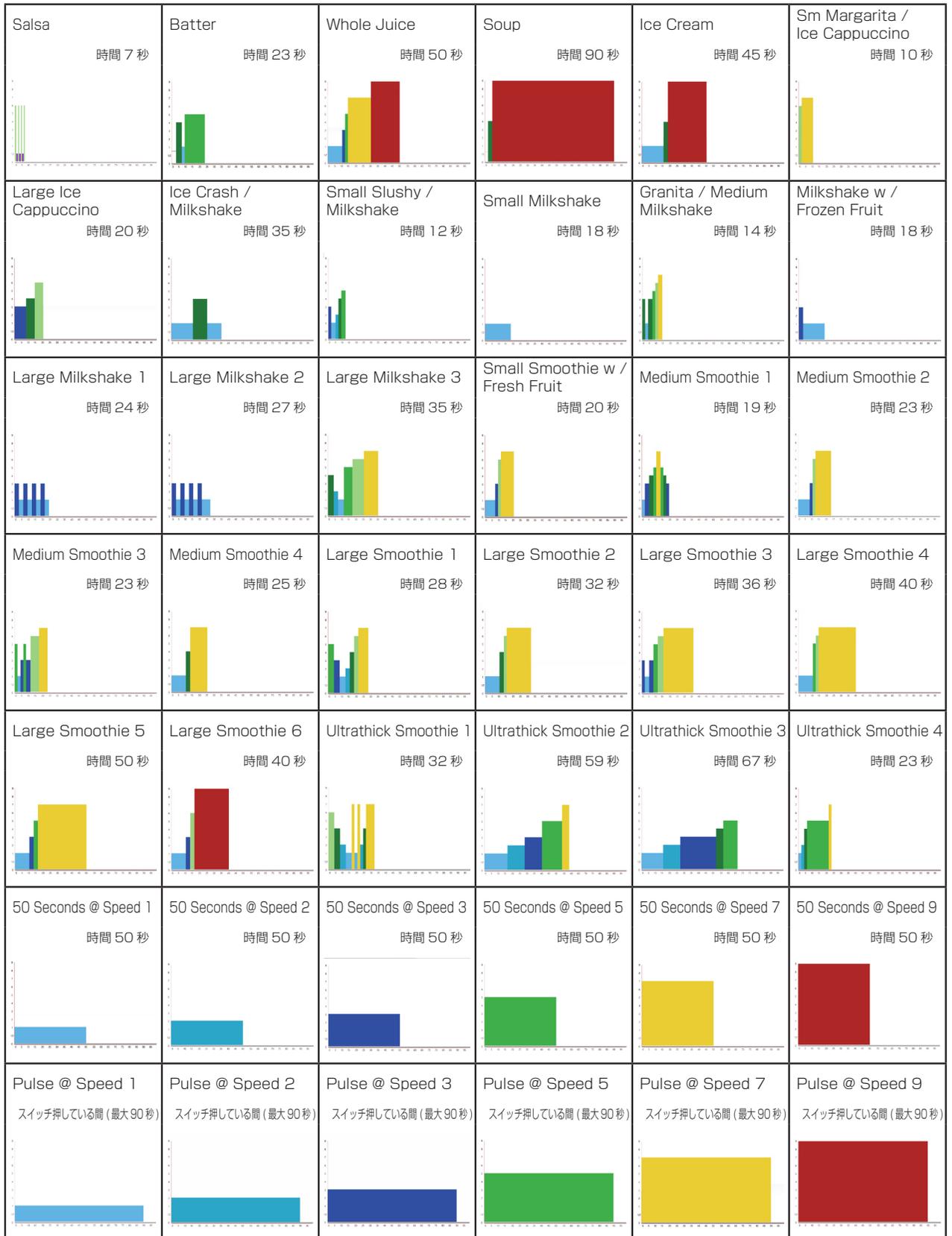
サイクルスイッチの自動変速サイクルの変更は完了です。

メモ

自動変速サイクルの「43.Diable Button」に変更したサイクルスイッチは無効になります。

「43.Diable Button」に変更したサイクルスイッチは、押しても動作しません。

Blendtec 社の標準自動変速サイクル



各サイクルスイッチの自動変速サイクルの変更のしかた2

本機は、各サイクルスイッチの自動変速サイクルをサイクルメニュー「FMI」の自動変速サイクルに変更することができます。

ここでは、サイクルメニュー「FMI」の自動変速サイクルへの変更方法について説明します。

1. 電源スイッチが「ON」(入)の状態、サイクルスイッチ「②」と「④」を長押ししてください

ディスプレイには右のように表示されます。

MAIN MENU

2. サイクルスイッチ「①」を押して「2.BLEND CYCLES」を選択してください

2. BLEND CYCLES

3. サイクルスイッチ「⑤」を押してください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. Standard Cycle

4. サイクルスイッチ「①」を押して「2.Custom Cycles」を選択してください

2. Custom Cycles

5. サイクルスイッチ「⑤」を押してください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. Milkshake

6. サイクルスイッチ「①」を押して、お好みの自動変速サイクルを選択してください

ここで選択できる自動変速サイクルは、下記の7種類になります。

「Milkshake」……………標準量のミルクシェーキ用

「Light juice, small milkshake」……軽いジュース / 少量のミルクシェーキ用

「Granita, mediu n milkshake」 ……多量のスムージー / ヨーグルト / バラ凍結フルーツ用

「Lrg smoothie, yogurt, IQF」 ……多量のスムージー / バラ凍結食材 / ヨーグルト / 氷用

「Lrg smoothie, IQF, yogurt, ice」…攪拌スピード5で50秒間の攪拌

「Pulse @ Speed 5」 ……押している間 (最大90秒) 攪拌スピード5のパルス

4. Lrg smoothie,

7. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定してください

ディスプレイには右のような画面が表示されます。

Select button to

8. 変更するサイクルスイッチを押してください

ディスプレイには右のような確認画面が表示されます。

Update button 1

9. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定してください

変更が確定されて、ディスプレイには右のような画面が表示されます。

Cycle Changed

4. Lrg smoothie,

10. 待機画面に戻ってください

パルススイッチ「④」を3回押して待機画面に戻ってください。

ディスプレイは待機画面に戻り、サイクルメニュー名の後に「*」が表示されます。

FMI *

サイクルスイッチの自動変速サイクルの変更は完了です。

工場出荷時のサイクルメニューへの戻しかた

変更したサイクルメニューや変更したサイクルスイッチの自動変速サイクルは、一括で工場出荷時のサイクルメニュー「FMI」に戻すことができます。

ここでは、工場出荷時のサイクルメニューに戻す方法について説明します。

1. 電源スイッチが「ON」(入)の状態、サイクルスイッチ「②」と「④」を長押ししてください

ディスプレイには右のように表示されます。

MAIN MENU

2. サイクルスイッチ「①」を押して「1.PROFILES」を選択してください

1. PROFILES

3. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定してください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. Standard Plofi

4. サイクルスイッチ「①」を押して「2.Custom Profiles」を選択してください

2. Custom Profile

5. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定してください

ディスプレイには右のように表示されます。

1. FMI

6. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定してください

ディスプレイには右のような確認画面が表示されます。

Make FMI the act

7. サイクルスイッチ「⑤」を押して確定してください

変更が確定されて、ディスプレイに「Storing FMI」が表示された後、待機画面戻り、「FMI」が表示されます。

Storing FMI

FMI

総使用回数および各サイクルスイッチ使用回数の確認のしかた

本機は、総使用回数と各サイクルスイッチの使用回数を確認することができます。
ここでは、総使用回数と各サイクルスイッチの使用回数の確認方法について説明します。

1. 電源スイッチが「ON」(入)の状態、サイクルスイッチ「②」と「④」を長押ししてください

ディスプレイには右のように表示されます。

MAIN MENU

2. サイクルスイッチ「①」を押して「3.CYCLE COUNTS」を選択してください

3. CYCLE COUNTS

3. サイクルスイッチ「⑤」を押してください

ディスプレイには右のように表示されます。

Total: 15

4. サイクルスイッチ「①」を押して確認したい使用回数を表示してください

Total 本機の総使用回数
Button 1 サイクルスイッチ 1 の使用回数
Button 2 サイクルスイッチ 2 の使用回数
Button 3 サイクルスイッチ 3 の使用回数
Button 4 サイクルスイッチ 4 の使用回数
Button 5 サイクルスイッチ 5 の使用回数
Button 6 サイクルスイッチ 6 の使用回数

5. 確認後は待機画面に戻ってください

パルススイッチ「④」を2回押して待機画面に戻ってください。

故障の診断と手当

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「手当」の欄に「お買い上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機の電源スイッチを「OFF」(切)にし、電源プラグ(プラグアダプター)を抜いて、早急にお買い上げ店までご連絡ください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

状 態	確認 / 症状	手 当
電源スイッチを「ON」(入)にしても電源が入らない。	電源プラグ(プラグアダプター付)が抜けていませんか？	電源プラグ(プラグアダプター付)が抜けている場合は、コンセントに、電源プラグ(プラグアダプター付)を差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源スイッチの故障の可能性があります。	お買い上げ店へ連絡してください。
サイクルスイッチを押しても動作しない。	サイクルスイッチの故障の可能性があります。	お買い上げ店へ連絡してください。
容器部から異常音が発生する。	丈夫な所に設置していますか？	丈夫な場所に設置してください。
	据え付けが悪く、ガタついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か触れた状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	容器蓋、容器が正しくセットされていますか？	容器蓋、容器を正しくセットしてください。
	モーターのカップリング不良の可能性があります。	お買い上げ店へ連絡してください。
	容器軸受け不良	お買い上げ店へ連絡してください。
モーターから異常音が発生する。 回転振動が大きい。	モーター不良	お買い上げ店へ連絡してください。
	モーター軸受け不良	
ディスプレイに「OVER TEMP」が表示されて回転が止まる。	モーターが過熱状態になっている。	モーターが冷めるまで待ってください。 モーターが冷めれば使用可能になります。
ディスプレイに「OVER LOAD」が表示されて回転が止まる。	モーターに過負荷がかかっている。	電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグを抜いてから、過負荷の原因を取り除いてください。 調理の途中で止まった場合は、過負荷原因を解除しても自動変速サイクルの続きの動作はしませんので、再度、サイクルスイッチを押して最初から調理をおこなってください。

状 態	確認 / 症状	手 当
ディスプレイに下記のメッセージが表示されて回転が止まる。 「Temp Sensor」 「Zero Cross」 「Reset」 「Read/Write」 「Motor Control」	—	お買上げ店へ連絡してください。
回転むらがある。	—	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる。	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF (切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF (切)」に作動した場合には、お買上げ店に連絡してください。レバーが「OFF (切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグが異常に熱くなる。	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする。	—	お買上げ店へ連絡してください。

メニューバリエーションの例

スムージーとは……

スムージーとは、フルーツや野菜、乳製品、氷などを強力なミキサーで攪拌して作る、冷たく滑らかで必須栄養素を摂取できる一種の飲む食事のことです。

スムージーは、使う食材によってバリエーションが非常に豊富、かつ手軽でヘルシーな食品です。

おいしいスムージーを作るポイントは、新鮮な完熟したフルーツを選ぶことができるかによって、風味の良し悪しが決まるといっても過言ではありません。

名称の語源はネットリとした滑らかな食感を表す「SMOOTH」からきており、もともとはアメリカ南部で飲まれていたネクターが変化したものともいわれています。

ご参考までに、メニューバリエーションの一例をご紹介します。

※食材の状態によって分量が変動しますのでご注意ください。

クッキー&クリーム 材料 バナナ……………50g ヨーグルト……………30g バニラアイス……………30g 牛乳……………30g ガムシロップ……………20g チョコチップ・クッキー ……20g 氷（チップアイス） ……60g	パイン・ココナッツ 材料 ココナッツパウダー…………… 5g ヨーグルトドリンク ……120g バニラアイス……………21g 冷凍パイナップル……………60g レモン果汁 ……5g 氷（キューブアイス） ……80g	クラシック 材料 オレンジジュース ……120g 冷凍いちご（カット） ……60g バナナ（冷凍スライス）…100g
ベリー・ベリー 材料 冷凍いちご……………50g 冷凍ラズベリー……………30g バニラアイス……………35g 牛乳……………30g ガムシロップ……………40g 氷（チップアイス） ……60g	ストロベリー・オレンジ 材料 冷凍いちご（解凍） ……70g オレンジジュース……………60g ガムシロップ……………40g 氷（チップアイス） ……60g	マンゴ・オレンジ 材料 マンゴ ……100g オレンジジュース……………50g ガムシロップ……………27g 氷（チップアイス） ……60g
抹茶ミルク 材料 抹茶蜜……………80g 牛乳……………60g 抹茶アイス……………35g 氷（チップアイス） ……80g	バナナ・チョコ 材料 バナナ ……100g バニラアイス……………35g チョコレートシロップ……………30g 氷（チップアイス） ……60g	アイスカプチーノ 材料 エスプレッソコーヒー……………30g 牛乳……………60g グラニュー糖……………10g バニラアイス……………21g 氷（チップアイス） ……100g

仕様

品名	スムージーブレンダー	
型式	CONNOISSEUR	
外形寸法	幅 227・奥行 232・高さ 473mm (防音フードカバー開時：奥行 335・高さ 575mm)	
電源	100V 50 / 60Hz	
電流	14 A (定格 30 分)	
消費電力	1.0 kW	
回転数	プログラム：4,100～21,000r.p.m. (スピード：9 段階) 無負荷時	
材質	防音フード	ポリカーボネイト
	防音フードカバー	ポリカーボネイト
	本体カバー	ポリカーボネイト
	容器蓋	シリコンゴム
	容器	トライタン
	カッター	ステンレス SUS304
	本体	ステンレス SUS304
容器取付方法	はめ込み式	
容器容量	2.2 L	
処理容量	最大：0.95 L、最小：0.2 L	
電源コード	長さ：1.7 m (プラグアダプター付)	
質量	7.6 kg (本体 7.0 kg + 容器・容器蓋 0.6 kg)	

お願い

本機では、80℃を超える熱い食材や、調理中に 80℃を超える食材は調理しないでください。容器が、変形したり、変速したりする可能性があります。

※ 上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

梱包内容一覧

梱包箱には、次のものが入っています。足りない場合は、お買上げ店へ連絡してください。

本体(防音フード、防音フードカバー付き)	1 個
容器	2 個
容器蓋	2 個
のぞき蓋	2 個
プラグアダプター	1 個
取扱説明書(本書)	1 冊
保証書	1 部

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。
保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。
返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

容器	ゴムパッキン
容器蓋	のぞき蓋

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営業所 札幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス盛岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202108 PI'